

社会福祉法人 聖マリア会

令和2年度 事業報告書

事業の実施状況

令和2年に入り、我が国を含め全世界で新型コロナウイルス感染症の感染拡大により国民の生活はもとより社会、経済の様々な面に史上例を見ない大きな変化をもたらし、未だに感染症の収束の見通しが全く立たない状況です。

感染リスクの高い医療・福祉分野では特に対人ケアが中心であるため、非接触、非対面が避けられない仕事があり、もし感染者が発生した場合にあっても必要なサービスを安定的、継続的に提供しなければなりません。

このような状況下、コロナ禍の中での入所利用者の確保や短期入所、通所介護の利用者の受入れについては、施設内感染対策の徹底に努めるとともに、職員自身が感染源とならないよう、また、家族の面会も含め外部からの感染防止を強化し万全の対策を取ってまいりました。

また、従来から人手不足が懸念される中、職員の定着に関する取り組みとして、1. 出産・育児休業後も働き続けられる職場環境づくりの推進、2. 令和3年4月以降の「同一労働同一賃金」への対応として有期労働契約から無期労働契約への転換、賃金の増額等待遇改善への取り組み、3. 介護職員の直接的な負担軽減策として、リフトによる抱え上げない介護（ノーリフティングケア）の推進

※「令和2年度エイジフレンドリー補助金」の活用（補助額 595,500 円）

4. 職場におけるハラスメント対策の徹底など介護人材を安定的に確保し、職員が安心して働くことのできる職場環境の整備に努めてまいりました。

財務面では適切な収益性の確保に向け、ショートステイ利用率が毎年減少傾向にあるため、ショートステイからの転換による特養定員の増床（特養 56 床→58 床、ショート 13 床→9 床、令和3年2月1日付認可）の整備を行いました。

また、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金」制度を活用し、感染症対策に要する物品購入、衛生用品購入等（補助額 約 516 万円）の整備を図りました。

このような中、当法人の令和2年度決算は、各事業の利用率の低さも影響し、会計全体では、約 107 万円の赤字決算となっています。

コロナ禍における経営環境はどの業界においても今後ますます厳しくなると予想されますが、利用者の「人権の尊重・個人の尊厳を守ること」を基本姿勢として利用者サービスの一層の向上を図るべく各事業に取り組んでまいりましたので、その概要を次のとおり報告いたします。

1. 法人の概要

- | | |
|----------|--|
| 1. 法人名 | 社会福祉法人 聖マリア会 |
| 2. 所在地 | 愛媛県今治市上徳甲 1 1 0 番地 1 |
| 3. 法人の事業 | (1) 第一種社会福祉事業
(イ) 特別養護老人ホームの経営
(ロ) 軽費老人ホームの経営
(2) 第二種社会福祉事業
(イ) 老人デイサービス事業の経営
(ロ) 老人短期入所事業の経営 |

2. 役員等の状況

1. 構成 (令和3年3月31日現在)

理事	定数	6名以上11名以内 (現員10名)
監事	定数	2名以内 (現員2名)
評議員	定数	7名以上12名以内 (現員11名)

3. 令和2年度理事会開催状況

開催年月日 出席人数	議案	
令和2年度第1回理事会 (書面) 決議事項の提案をした理事 理事長 木原 晃 理事会の決議があったもの とみなされた日 令和2年 5月29日(金) 議決に加わることのできる 理事総数 理事 10名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和元年度事業報告について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会令和元年度決算について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会介護職員等に対する特定処遇改善 加算の支給に関する規程の一部改正について 第4号議案 社会福祉法人聖マリア会評議員選任・解任委員の選任につ いて 第5号議案 社会福祉法人聖マリア会定時評議員会の開催について
	報告	①社会福祉法人聖マリア会中期経営計画について
令和2年度第2回理事会 (書面) 決議事項の提案をした理事 理事長 木原 晃 理事会の決議があったもの とみなされた日 令和3年 3月22日(月) 議決に加わることのできる 理事総数 理事 10名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和2年度補正予算について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会令和3年度事業計画について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会令和3年度予算について 第4号議案 社会福祉法人聖マリア会職員就業規則の一部改正について 第5号議案 社会福祉法人聖マリア会嘱託職員就業規則の一部改正につ いて 第6号議案 社会福祉法人聖マリア会継続雇用制度に関する規程の廃止 について 第7号議案 社会福祉法人聖マリア会定款施行細則の一部改正について
	報告	①専決事項報告 (書面報告) ②令和2年度補正予算に係る新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交 付金に関する事業実施報告書 (事業所単位)

4. 令和2年度評議員会開催状況

開催年月日 出席人数	議案	
令和2年度第1回評議員会 (書面) 決議事項の提案をした理事 理事長 木原 晃 評議員会の決議があったもの とみなされた日 令和2年 4月22日(水) 議決に加わることのできる 評議員総数 評議員 11名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会定款変更について 第2号議案 理事の欠員に伴う補欠理事の選任について
令和2年 6月20日 評議員10名 欠席評議員 1名 出席理事 1名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和元年度事業報告について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会令和元年度決算について

5. 特別養護老人ホームみどりの郷

特別養護老人ホームみどりの郷の令和2年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和2年度稼働目標 稼働率95%に対して92.1%であった。

【原因】

看取りを行っていないため、終末期の入退院の増加や長期化などが多くあり、それに伴い新規入所の準備期間が遅れ空所期間が長引くことがあった。

【対策】

今後は看取り介護導入の検討や長期入院療養者の一時退所等をスムーズに行うとともに、空所期間を極力減らすために速やかに新規入所者を受け入れる体制を整える。

2. 利用者の生活の質の向上にむけてそれぞれの専門職が連携して下記の役割をはたします。

強化

- ① 思いに寄り添った生活の実現
- ② 楽しみのある余暇活動の提供
- ③ 虐待及び身体拘束を発生させない体制
- ④ 専門性の高い知識と技術で生活援助

継続

- ① 整理整頓された環境整備と安全な衛生管理
- ② 感染対策および食中毒の予防
- ③ 楽しみのある食事の提供
- ④ 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止
- ⑤ 持ち上げない介護の実践

【実績】

入所者により良いサービスを提供するために9つの目標を立て、各委員会とユニットが実現のために活動した。

調理員や看護職員の人材不足はあったが、介護職員においては安定したチームワークで自らが主体的に活動し、入所者への影響を最小限にとどめ、より良いサービスを提供することができた。

職員の接遇力向上により、全ての入所者に敬意をもって接することができるようになったことで、入所者個々の思いに寄り添う生活援助を提供することができた。

ノーリフティングケアを導入し、入所者にも介助者にもやさしい専門性の高い生活援助を提供できるようになった。

新型コロナウイルス対策を中心とした感染症対策と整理整頓された環境整備を強化して、感染症を発生させることなく入所者の安全を守ることができた。

(1) 定員 58名 令和3年3月31日現在
個室 14、4人部屋 11

(2) 入所者 58名 男性 15名
女性 43名

(3) 入所者年齢

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
男性	1	5	7	2	0	15
女性	2	5	16	18	2	43
計	3	10	23	20	2	58

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	67歳	93歳	82.3歳
女性	65歳	102歳	86.9歳
計	65歳	102歳	85.7歳

(4) 年度別利用状況

年度	日数	延利用日数	1日当人員	利用率	備考
2年	365	18,949	51.92	92.1	
元年	366	19,145	52.31	93.4	
30	365	18,879	51.72	92.3	

(5) 入退所状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

- 入所者 17名 入所前居所（自宅10名、老健6名、病院1名）
- 退所者 14名 退所理由（長期入院8名、死亡6名）

(6) 現入所者の入所年度

15～18年度	21～24年度	26～27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	計
2名	4名	7名	5名	9名	9名	7名	15名	58名

(7) 現入所者の平均在所日数

2年度	1,310日（3年07月）
元年度	1,305日（3年06月）
30年度	1,166日（3年01月）

(8) 入所者の年間平均介護度

2年度	4.23
元年度	4.31
30年度	4.25

(9) 特例措置による入所状況 なし

(10) 入所待機者 181名（他施設との重複含む）

(11) 入所検討委員会開催

年4回（4月、7月、10月、1月）

6. 短期入所（ショートステイ）事業

ショートステイみどりの郷の令和2年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和2年度稼働目標 稼働目標50%に対して20.1%であった。

【原因】

年度当初は、前年度からの介護職員の人手不足及び特養入所者の重度化で基本的なサービス提供自体が不安定であったため、ショートステイの受け入れを制限せざるを得ない状態であったが、徐々に人手不足が解消されサービス提供も安定した。それに伴い積極的な新規の受け入れを行ってきたが、新型コロナウイルスの流行により、特に新規利用者の受け入れには慎重にならざるを得なかった。

また令和3年2月より特養定員2名増の合計58名、ショートステイ定員4名減の合計9名となったことで、月平均利用人員2から3名の範囲での受け入れ目標であったが、特養入所者の入院増加で、特養と合わせての稼働について不十分な結果となった。

【対策】

今後は特養入所者の健康管理と入院を見越して、ショートステイの調整を行っていく。

2. 在宅で生活される利用者が、施設の中でも可能な限り自らの生活習慣を変えることなく、尊厳的、自立的な日常生活が送れるよう支援します。

また、ご家族が、必要時あるいは一時的な休息をとることにより、より良い在宅生活が継続できることを目的とします。

強化

- ① 思いやりと尊厳のある援助

【実績】

コロナ禍の中、定期的な利用者については引き続き本人及びその家族の意向に沿えるよう柔軟な対応と個別ケアを提供し、満足して頂けるよう職員間で協力した。

特養の接遇年間目標である「敬語で話す」及びサブ目標である「相手を思いやれない不適切なケアを行わない」を実践することで、丁寧な言葉遣いと対応に繋がる取組みを行った。利用者の家族の体調不良により特養入所となるケースがあったが、「みどりの郷さんだったら安心できます。」との言葉もいただくことができた。

- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止

【実績】

ベッド周辺環境と身体状況に合わせた安全な動線には十分に気を付けて整備し、常に確認している。また予測される事故に関しても利用毎に何度もスタッフ間で申し送りを行っている。

家族に対して、思わぬ事故がありうることを理解していただき日頃から情報共有を行い信頼関係を築けるよう努力している。

発生した事故に関しては管理者と相談して迅速な対応を行い、ユニットリーダー及び事故防止委員会メンバーで共に再発防止に努めている。

継続

- ① 利用者の心身に応じた個別援助の実施
- ② ご家族、他機関と情報を共有し、意思や意向に沿った柔軟なサービスの提供
- ③ 在宅生活を継続するための身体機能の維持活用
- ④ 不適切ケアを改善し、虐待を発生させない体制
- ⑤ 楽しみのある食事の提供
- ⑥ 感染症対策及び食中毒の予防

【実績】

利用者が安心、安全、快適に過ごしていただけるよう職員全員と協力して、ケアの提供を行っている。

(1) 定員 9名 (予防型含む)

(2) 年度別利用状況

年度	日数	実利用人員	延利用日数	1日当人員	利用率	備考
2年度	365	128 (0)	907 (0)	2.48	20.1	1人当平均利用日数 7.08日
元年度	366	194 (0)	1,225 (0)	3.35	25.7	6.31日
30年度	365	262 (3)	1,470 (9)	4.03	30.9	5.61日

() 内は介護予防分を再掲

(3) 利用者の年間平均介護度

2年度 3.67

元年度 3.29

30年度 3.31

7. 地域密着型通所介護 (デイサービス) 事業

デイサービスセンターみどりの郷 (地域密着型) の令和2年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和2年度稼働目標 稼働目標 70%に対して 56.7%であった。

【原因】

新規利用者獲得が不十分で目標達成には至らなかった。居宅介護支援事業所がないこともあるが、新型コロナウイルスの影響もあり他事業所に向けたアピール不足であったと考えている。

【対策】

土曜日にサービスを行っていないことや重度認知症は受け入れできないことや遠方への送迎に回れないなどの問題も多く、また富田地区はデイサービスの激戦区になっているため、今後より一層要支援者を受け入れしていくなど様々な検討を行っていく。

2. 利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った支援を実施することで、心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消を目指します。また本人が持つ力や意欲を引き出せるように様々なニーズに対応したサービスを提供することを目指します。

そして、他事業所に対するアピールや連携により、より一層の利用者確保に努めます。

強化

- ① 利用者及び家族の意向と状況把握に努め、全ての利用者がより良い在宅生活を継続するためのプランの見直しと計画づくり
- ② 楽しみを持てるレクリエーションや施設外活動の実施による利用者の満足感の向上

【実績】

ケアマネージャーと連携を図りながら、本人やその家族の思いをプランに組み込むよう努めた。在宅生活維持のため、リハ希望の方も増加している点に着目して、専門性はないが歩行訓練や体操も理学療法士が奨めるものを取り入れるなどして、筋力や可動域の維持向上を職員や利用者共に意識することができるようになってきている。

新型コロナウイルスの影響で、利用者の希望通りの外出ができなかった。全体で動くのではなく、個別や少人数での新しい外出プランを立てるなどして、少しでも機能訓練や意識向上に繋がるよう今後努める必要がある。

継 続

- ① 施設内の清掃をこまめに行うことによる感染予防・衛生管理の徹底
- ② 職員個々の専門性の向上と、職員間の情報共有
- ③ 利用者の身体的・精神的特徴を考慮した上での個人の健康状態の把握・対応

【実績】

感染症については利用前検温・消毒・パーティション購入など予防を徹底することができている。

職員間の情報共有が徹底できず専門性の向上に乏しかった。今後は情報共有を徹底して向上していけるよう努める必要がある。

利用者の状況把握に努め、利用者やその家族及びケアマネージャー等他事業所と連携し、異変の早期発見や状態改善できるような対応が概ねできた。

8. 認知症対応型通所介護（デイサービス）事業

デイサービスセンターみどりの郷（認知症対応型）の令和2年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和2年度稼働目標 稼働目標 60%に対して 44.4%であった。

【原因】

今年度は、3名の利用者が利用中止になり、その空きを埋めることが中々できなかった。

【対策】

随時間い合わせはあり見学や体験利用等行っているが、今後も引き続き居宅介護支援事業所等外部に向けて当事業所のメリット等をアピールして利用者数増加に努めていく。

2. 認知症状や身体状況の変化が著しい利用者に対し、家庭的な雰囲気の中で、心身の特性を踏まえ、症状の緩和や悪化防止を図ります。また、尊厳のある自立した日常生活を営むことができるようにご本人の意思や希望、ご家族の要望等を把握し、利用者のペースに合わせた日常生活場面での支援や機能訓練、その他必要な援助を行います。

強 化

- ① 利用者の認知症状、身体状況に応じた日常生活支援のためのサービスの提供
- ② ご家族や他の介護支援事業者等関係機関との連携強化

【実績】

利用者の状態が日々変化する中で、職員間で随時情報の共有を行い利用者
に合ったサービスを提供することに努めた。

利用者の家族や介護支援事業所等関係機関との連携については、利用者の
状況の変化に気付き次第報告するなど迅速な対応を取ることで、状態の悪化
を防ぐことができた。

継 続

- ① 利用者が安心してゆったりと過ごせるような環境づくり
- ② 通所介護計画書に沿ったサービスの提供
- ③ 衛生管理の徹底及び感染症蔓延の防止
- ④ 不適切ケアの改善及び接遇の徹底
- ⑤ 充実した食事や楽しく食事できる環境の提供

【実績】

新型コロナウイルス感染症対策として、利用前の検温やマスクの着用、手
指消毒を徹底した。

市内での感染増加に伴いパーテーションを使用した時期もあったが、利用
者の中には違和感がある方もいたため、感染症予防について細かく説明し理
解を得た。

不適切ケアや接遇については、随時職員間で検討し利用者に対して失礼の
ない対応を行った。

- (1) 定 員 ア. 地域密着型 18名
 イ. 通所型サービス 地域密着型の定員内
 ウ. 認知症対応型 12名

(2) 営業日・サービス提供時間

- 1週間の営業日数 5日（月～金曜日）
- 1日のサービス提供時間 ア. 地域密着型 5～6時間
 イ. 認知症対応型 7～8時間

(3) 年度別利用状況

区分 年度	(日) 開所日数	地域密着型		通所型サービス		認知症型		計		(人) 1日平均	(%) 利用率
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員		
2年度	256	197	2,125	65	490	118	1,365	380	3,980	15.5	51.8
元年度	256	217	2,070	72	437	119	1,508	408	4,015	15.7	52.3
30年度	255	234	2,284	96	588	135	1,353	465	4,225	16.6	55.2

(4) 利用者の年間平均介護度

区分	地域密着型	認知症対応型
2年度	1.45	3.77
元年度	1.37	3.66
30年度	1.70	3.21

(5) 配食サービス事業

今治市よりの受託事業 月～金（昼食）

2年度 650食

元年度 638食

30年度 708食

9. ケアハウス事業

ケアハウスせせらぎの令和2年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和2年度稼働目標 稼働目標 80%に対して 84.5%であった。

【結果】

今年度は2名の新規入所者があった。

ケアハウスでの生活にも慣れ特に大きな問題はなく過ごされている。

2. 入所者の高齢化や要介護者の増加がみられ、個々の日常生活動作の差も顕著になってきている中で、入所者の自立性を尊重し、自立支援、自己選択ができる環境を作ります。また、入所者の日頃の生活を注意深く見守り、利用者本位の処遇を行うことにより信頼関係を深めるよう努めます。

強化

- ① 入所者の心身の状態を把握し、その方に応じたサービスの提案と提供
- ② 入所者の声を傾聴し、施設サービス計画を充実させ、計画に沿った援助を実施する
- ③ 入所者が快適に過ごせるよう施設の環境整備に努める
- ④ 職員間、他部署、他事業所との連携をスムーズかつ密に行う

【実績】

入所者の状態に応じて、服薬管理を開始したり、若干名ではあるがデイサービスの利用に繋げることができた。

入所者に快適に過ごしていただけるよう食堂にBGMを流したり、好みそうな昔のテレビ番組を再生したりした。

継続

- ① 栄養士による嗜好調査に基づき、入所者の希望等を取り入れた食事を提供する
- ② 感染症予防のため、情報の提供、年間を通じて手洗い・消毒の声掛けを行う
- ③ 接遇力の向上を目指し、気持ちの良いコミュニケーションができるよう努める

【実績】

新型コロナウイルス感染症対策等を実施し、インフルエンザ等も含めて感染症の発生はなかった。

接遇については、接遇委員会での情報を共有し接遇向上に努めた。

(1) 定員 30名 (1人部屋 22、2人部屋 4)

(2) 入居者 22名 男性 5名 女性 17名
単身者 22名 夫婦 0名

(3) 現入居者の入居年度

10~18年度	19~21年度	25~27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	計
2名	1名	4名	4名	3名	3名	3名	2名	22名

(4) 入居者の年齢

	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	計
男性	0	1	3	1	5
女性	0	3	8	6	17

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	71歳	90歳	85.2歳
女性	76歳	101歳	87.5歳
計	71歳	101歳	87.0歳

(5) 入退居者の状況 (令和2年4月1日~令和3年3月31日)

入居者 2名 入居前の居所 (自宅 2名)

退居者 3名 退居理由 (老健 3名)

(6) 現入居者の平均在所日数

2年度 1,905日 (5年02月)

元年度 1,727日 (4年08月)

30年度 1,602日 (4年04月)

(7) 入居者の要介護度状況

未認定者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
2名	5名	4名	8名	3名	—	—	—	22名

令和 2 年度 職員研修実施状況

年月日	主 催	対象者・研修会・内容		場 所	参加者
R2.6.26	アビリティセンター 株式会社	施設職員	愛媛県介護雇用プログラム推進事業説明会	新居浜市	川村友和
R2.7.30～ R3.3.31	愛媛県社協	施設職員	令和 2 年度 テーマ別研修「新型コロナウイルス感染発生！ その時どうする？」	動画配信	課長 1 名 主任 7 名
R2.8.11	愛媛県老施協	施設職員	令和 2 年度 ノーリフティングケア普及啓発セミナー モデル事業実施前説明会	松山市	川村友和 浅野有紀
R2.9.21 R2.9.22 R2.10.2 R.2.10.3	介護支援専門員 指定研修実施機関 愛媛県社協	施設職員	令和 2 年度 介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程 Ⅱ】	松山市	八塚宝愛 長井美智子
R2.10.5	愛媛県福祉 サービス協会	施設職員	令和 2 年度 福祉用具・住宅改修 第 1 回テーマ別講習会 結果を出せる！「ノーリフティングケア」の導 入 高齢者が安心して生活できる地域・施設をめざし て	松山市	神野翔平 坂本絵美
R2.12.9	愛媛県介護実習 ・普及センター	施設職員	令和 2 年度 介護職レベルアップ講習会 ノーリフティングケア	松山市	神野翔平 坂本絵美
R3.1.13	介護ロボット 地域フォーラム 事業事務局	施設職員	厚生労働省 「介護ロボット地域フォーラム事業」 介護ロボット愛媛フォーラム 2020	オンライン 開催	川村友和
R3.1.13～	全国老施協	施設職員	新しい生活様式における福祉施設のあり方について 新型コロナウイルス感染症対策と対応	動画配信	課長 1 名 主任 7 名
R3.1.14	全国老施協	施設職員	新型コロナ感染発生時ノウハウ動画集	動画配信	課長 1 名 主任 7 名
R3.1.26	中国・四国ブロッ ク 経営者協議会	施設職員	2020 年度 中四国ブロック災害支援セミナー	オンライン 開催	川村友和
R3.2.12	愛媛県老施協	施設職員	令和 2 年度 新型コロナウイルス対策実技研修	松山市	川村友和 神野翔平
R3.2.14	愛媛県災害 リハビリテーション 連絡協議会	施設職員	令和 2 年度 愛媛県災害時福祉人材マッチング制度登録者 WEB 研修会	オンライン 開催	川村友和

年月日	主催	対象者・研修会・内容		場所	参加者
R3.2.15	愛媛県社協	施設職員	令和2年度 愛媛県ノーリフティング普及啓発セミナー モデル事業報告会	松山市	八塚宝愛 神野翔平 坂本絵美
R3.2.17	愛媛県経営協 愛媛県社協	施設職員	令和2年度 防災に関する研修会 新型コロナウイルス対策を踏まえたBCPのあり方	オンライン 開催	佐々木高綱
R3.2.25	介護労働 安定センター	施設職員	令和2年度 介護分野のICT普及促進セミナー	新居浜市	川村友和
R3.3.10～ R3.3.11	愛媛県福祉 サービス協会	施設職員	令和2年度 福祉用具・住宅改修 第2回テーマ別講習会 ノーリフティングケア推進と現場の重度化予防	松山市	浅野有紀 日浅麻衣

令和2年度 施設内研修実施状況

年月日	主催	対象者・研修会・内容		場所	参加者
R2.9.24～ R3.1.4 計4回	愛媛県社協	施設職員	ノーリフティングケア研修	みどりの郷	特養職員
R3.2～ R3.3 計7回	みどりの郷	施設職員	ノーリフティングケア勉強会	みどりの郷	特養職員

令和2年度 地域貢献実施状況

年月日	主催	対象者・研修会・内容		場所	参加者
R2.11.12～13	南中学校	中学生	福祉体験学習	南中学校	職員 4名
毎月1回	富田総ぐるみ 子どもまもり隊	施設職員	青色防犯パトロール隊 統一パトロール	富田小学校	職員 1名